



立西巻き

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 7. 3 (木)
No.24

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

毎日見て回ります。はきものそろえ

はきものをそろえる
はきものをそろえろと
心もそろえ
心がそろえと
はきものもそろえ
ぬぐときにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだしていたら
だまってそろえて
おいてあげよう
そうすれば
世界中の人の心も
そろえよう

「下駄箱に入っている靴の入れ方を見ただけで、クラスの様子わかります。」と私が担任をしていたころ先輩の先生が教えてくださいました。それを知ってから、そのことを意識して学級指導につなげたり、生徒指導主任として学校全体の状況確認をしたりするようになりました。子ども達に指導を徹底すると、不思議と落ち着いた学級になっていきます。いや、落ち着いているクラスは、自然とはきものもそろえうのかもしれませんが。校長となってからは、毎朝と校内巡回した時や休み時間あとには必ず見ています。実際、クラスの学習態度と下駄箱の様子は同じだと感じています。先生達も意識して、下駄箱を見てくださっています。一人ひとりの子どもの心の落ち着き度や学級の全体像、自分の指導力がそのまま下駄箱に表れているといっても過言ではありません。

この詩は、曹洞宗の藤本幸邦（ふじもとこうほう 1910～2009）僧侶が禅宗の「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」の教えをわかりやすく伝えるため詩として作ったそうです。他に向かって悟りを追求せず、まず自分の本性をみつめよ」という戒めです。

立西巻き7号でもお伝えしましたが、本校の生活目標は「元気なあいさつ もくもくそうじ はきものそろえ」です。1日（火）の全校朝会では、この詩を紹介し「はきものをそろえなさい」と話しました。しつけの3原則といわれる「あいさつ・返事・くつそろえ」にもならい、ご家庭でも地道にお子様に伝え続け、くつをそろえる習慣をつけさせてください。

玄関とトイレは、学校の顔、家庭の顔ともいわれます。
靴そろえからわかる子どものサインを見逃さないようにしていきたいと考えます。



詩の文字は2年の藤嶋先生に書いていただきました。先生は書道の師範です。

